



友の会 Facebook の QR コード

— 2026年3月1日 —

自由民権記念館友の会だより

# 民権の友

NO. 72

(伊藤 丘城 書)



史跡めぐり「立志社跡から憲政之祖国碑まで歩いていこう」(2025・2・15)

## 植木枝盛と能登

一〇年ほど前、能登半島を車で一周。棚田の稲が黄金色に輝く頃で、名勝・白米千枚田から日本海を見渡した。一昨年元旦の大震災で、その棚田の一部は潰え、家々は倒壊、輪島朝市通りは大火災に見舞われた。テレビが伝える惨状に胸の塞がる思いがした。輪島の北方約四八段沖合に、「舢倉島」という周囲約四段の小さな島がある。豊かな漁業資源に恵まれ、昔から海女によるアワビ、サザエ漁が盛んな所である。

明治一七(一八八四)年、植木枝盛は能登地方を遊説した。五月三日、穴水から行程およそ六里の山道を駕籠に乗って輪島に入り、七日ほど滞在。毎夜、懇親会、演説会に臨んだ。

六月三日、植木は港近くの海士町を散歩した。同地の戸数は約七、八〇戸。毎年三月末から九月まで、こぞつて舢倉島へ移って漁業を営むため、猫の子一匹いない。後日、自由新聞に連載した「北陸紀行」では、海士町の女子は貞烈で、不義を犯した者ある時は男子一切これに関係することを許さず、近傍各戸の婦人たちだけが集まって問題の婦人を譴責するとの風習を伝えている。

この時の見聞はよほど印象深かったらしい。明治二一(一八八八)年出版の「東洋之婦女」では、舢倉島では「鮑を採るには男よりも女が適する趣にて、女を尊び、女に威勢あること決して他に見ざるの例なり」と紹介。今日いうところの「女性のエンパワーメント」、つまり、さまざまな場で能力を発揮するようになれば、「女子に於て勢力を保つこと誠に斯の如きか」と感嘆している。

自由党解党後、植木は「家」制度の廃止・女性解放論に情熱をそそいだ。男尊女卑の旧習を打破するため、女性自ら学問を身につけ、すすんで職業に就き、社会の交際を広くし、女権拡張につとめるべきことを力説した。その脳裡に、舢倉島で一家を背負って働くたくましい海女たちの姿があったことは確か。日本のジェンダー平等の歴史を考えると、能登の輪島と舢倉島は「聖地」のひとつだ。一日も早い復興を祈ってやまない。

(自由民権記念館友の会永年会員・公文 豪)

※この欄は、友の会幹事と永年会員が交代で記述しています。ご意見、ご感想は友の会までお寄せください。

## 2026年度

## 友の会総会・記念講演会のご案内

日 時 **2026年4月29日（水・祝）**  
 友の会総会 午後1時30分～3時  
 記念講演会 午後3時～5時

場 所 **高知市立自由民権記念館 民権ホール**  
 （高知市棧橋通4-14-3 ☎088-831-3336）

## 友の会 総会

- 議 題
1. 2025年度 事業報告
  2. 2025年度 会計決算報告・監査報告
  3. 2026年度 事業計画（案）
  4. 2026年度 会計予算（案）
  5. 2026年度 役員改選（案）
  6. そ の 他

— 休 憩 —

## 記念講演会

演題：「自由民権運動を駆けぬけた女性たち」

講師：公文 豪 氏（自由民権運動研究者）

## 【講演概要】

日本の女性参政権の歴史は明治に始まります。男尊女卑、封建的女性観が支配的な時代、福沢諭吉の男女平等論、スペンサーの女性解放思想の紹介などによって撒かれた種子は自由民権運動の中で芽吹き、楠瀬喜多をはじめ女権拡張のため闘う女性たちが登場することによって花開きます。植木枝盛の女性解放論の影響を受けた土佐の女性たち。岸田俊子の女子演説に感動して日本で最初の女性政治団体を結成した岡山の女性たち。その後、参政権ばかりか、すべての政治的権利をはく奪されても屈せず、ついに帝国議会の傍聴権をかちとるなど、今に繋がる明治の先駆的女性たちの闘いの歴史をお話します。

二〇二六年三月一日 発行  
 発行者 岡林登志郎  
 発行所 高知市棧橋通 四丁目一四番三号  
 高知市立自由民権記念館友の会  
 TEL (〇八八) 八三一・三三三六

お問い合わせは事務局 ☎088-831-3336 まで。